

記者発表資料

首都圏を流れる荒川、大規模地震に備えて ～荒川の防災施設を利用した実働訓練～

荒川下流部に整備されている防災施設を、大規模震災発生時に有効的に活用できるように、関係機関と合同で「緊急用船着場、河川敷ヘリポート」を利用した実働訓練を実施します。

首都を流れる荒川下流部沿川は、首都直下地震等の大規模震災発生時、東京都が作成した災害時復旧活動困難度を考慮した総合危険度において「危険度の高い地域」とされており、荒川に整備されている「緊急用船着場、河川敷ヘリポート」は、「各市区の地域防災計画」等で災害復旧の拠点の場として位置づけられています。

【訓練の概要】

- (1)日時 : 平成25年12月11日(水) 14:00～16:00
- (2)場所 : 岩淵ヘリポート、岩淵緊急用船着場(北区志茂地先)他
- (3)訓練内容
 - ・空中消火訓練(ヘリにより荒川水面から取水し放水を行う訓練)
 - ・ヘリポート開設訓練(隊員を降下しヘリポートの開設を行う訓練)
 - ・帰宅困難者輸送訓練(両国船着場から岩淵船着場まで人員輸送を行う訓練)
 - ・TEC-FORCE輸送訓練(ヘリ、船舶による隊員輸送訓練) 他
- (4)参加機関
荒川下流防災施設運用協議会で組織される機関 他
東京都、埼玉県、沿川2市7区、東京消防庁、警視庁、埼玉県警察本部、東京都公園協会、荒川上流河川事務所、荒川下流河川事務所
- (5)取材申し込みについて
取材をご希望される方は、事前に下記問い合わせ先までお申し込み下さい。
- (6)その他
 - ・一般の方の見学も可能です。
 - ・荒天や災害の発生により、訓練の中止若しくは一部縮小して実施する場合があります。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、埼玉県政記者クラブ、都庁記者クラブ、川口市記者クラブ

問い合わせ先

「荒川下流防災施設運用協議会」事務局
国土交通省 関東地方整備局 荒川下流河川事務所
副所長(企画) 堀口 智 (ほりぐち あきら) TEL 03-3902-2067
地域防災調整官 程原 雄二 (ほどはら ゆうじ) TEL 03-3902-5696

訓練会場 位置図



【問い合わせ先】

国土交通省 荒川下流河川事務所 危機管理室 TEL:03-3902-5696

緊急用船着場の全体計画

荒川沿川は、大規模震災発生時に災害時活動困難度を考慮した総合危険度ランクにおいて、「危険度の高い地域」とされており、荒川に整備されている緊急用船着場は舟運を利用した**災害復旧の拠点の場**となるほか、**沿川市区への敏速な物資輸送の要**となることが期待されています。



舟運による輸送ルートを確認

荒川下流防災施設を利用した 現地実働訓練の概要

1. 目的（内容）

首都を流れる荒川下流部沿川は、首都直下地震等の大規模震災発生時、災害時復旧活動困難度を考慮した総合危険度において「危険度の高い地域」とされており、荒川に整備されている「緊急用船着場、河川敷ヘリポート」は、「各市区の地域防災計画」等で災害復旧の拠点の場として位置づけられています。

今回の訓練では、大規模震災発生時に、荒川下流部に整備されている各種防災施設を有効的に活用できるよう、防災施設の利用に習熟し、各施設の運用に係る改善点の把握を目的として「緊急用船着場、河川敷ヘリポート」を利用した実働訓練を実施します。

2. 実施日時

平成25年12月11日（水）14：00～16：00（現地訓練）

3. 実施場所 岩淵飛行場外離着陸場（北区志茂）

岩淵緊急用船着場及び周辺水域（北区志茂）

4. 訓練内容（詳細別図参照）※時間はメイン会場付近の目安

- ①〔14：00頃〕帰宅困難者輸送訓練（（公財）東京都公園協会，警視庁）
 - ・墨田区で帰宅困難者となった北区住民を、船により輸送する訓練
 - ・航行時トラブルへの対処として、警視庁警備艇で負傷者を移送する訓練
- ②〔14：20頃〕TEC-FORCE 輸送訓練
 - ・荒川下流河川事務所災害対策支援船「あらかわ号」による、TEC-FORCE 要員の輸送訓練
- ③〔14：30頃〕先遣要員輸送訓練（東京消防庁）
 - ・船舶による部隊，資機材の投入可否確認のための先遣要員を輸送する訓練
- ④上空における通信連絡訓練（埼玉県防災航空隊，埼玉県警察航空隊，関東地方整備局）
 - ・ヘリポート上空における輻輳時に、ヘリ同士の無線連絡通信により安全確認，着陸調整を行う訓練
- ⑤〔14：55頃〕空中消火訓練及び水域安全確保訓練
 - ・消火用水の補給のため、荒川水面から取水し、放水を行う訓練（埼玉県防災航空隊）
 - ・取水時の水域安全確保のため、取水予定地の周囲で警備を行う訓練（警視庁，東京消防庁，荒川下流河川事務所）
- ⑥〔15：15頃〕ヘリポート開設訓練（埼玉県警察航空隊）
 - ・飛行場外離着陸場においてヘリポートを開設する訓練
- ⑦〔15：35頃〕ヘリテレ伝送による画像情報収集訓練及び災害対応要員移送訓練
 - ・関東地方整備局ヘリコプター「あおぞら」によるヘリテレ映像の荒川下流河川事務所災害対策室への伝送を訓練する。
 - ・荒川下流河川事務所から、関東地方整備局で活動する要員をヘリによって輸送する訓練

5. 訓練参加機関

東京都、埼玉県、沿川2市7区、東京消防庁、警視庁、埼玉県警察本部、東京都公園協会、荒川上流河川事務所、荒川下流河川事務所

①帰宅困難者輸送訓練 (東京都公園協会(水辺ライン)・警視庁)

【訓練想定】墨田区は、両国国技館付近に滞留している帰宅困難者のうち、北区及び埼玉方面への帰宅者を船にて搬送することとし、水上バスによる輸送を実施。移動途中地震による河床の動きにより船舶の航行が困難となったため、傷病者を警視庁警備艇に移し、先行搬送を実施する。



■訓練時間

12:40～14:40

■訓練内容

- 12:40 帰宅困難者を乗せた水上バスは両国船着場出発
- 13:50 警備艇現地到着
- 14:00 水上バス現地到着/停泊
- 14:05 警備艇は水上バスに横付けし、傷病者を移動
- 14:15 警備艇バースA着岸
- 14:20 傷病者下船
- 14:25 警備艇離岸/水上バスバースA着岸
- 14:30 帰宅困難者下船
- 14:40 水上バス離岸
(警備艇は船着場下流側で待機)



警視庁警備艇



東京都公園協会水上バス

傷病者移動訓練



Japan, (C)ZENRIN
©Yahoo Japan

②船舶による部隊輸送訓練（荒川上流・下流河川事務所）

【訓練想定】関東地方整備局荒川上流河川事務所は、TEC-FORCE 等応援部隊の輸送を船舶で実施することを決め、荒川下流河川事務所へ災害対策支援船「あらかわ号」の出動を要請し、秋ヶ瀬緊急用船着場から岩淵緊急用船着場まで輸送する。



③船舶による先遣要員輸送訓練 (東京消防庁)

【訓練想定】東京消防庁は、甚大な被害が発生している北区志茂～神谷地区において、船舶による部隊、資器材等の投入可否を確認するため、先遣要員を岩淵緊急用船着場まで輸送する訓練を実施。岩淵緊急用船着場に到着時、2つ栈橋が使用中のため離岸するまで待機し、離着岸訓練を行う。



■訓練時間

14:25～14:45

■訓練内容

14:25 消防艇現地到着。栈橋が空くのを待つため、船着場付近で待機

14:30 あらかわ号の離岸を確認後、栈橋Bに消防艇着岸

14:35 応援要員乗降

14:45 消防艇離岸

(消防艇は船着場上流側で待機)



東京消防庁消防艇

④上空における通信連絡訓練（埼玉県航空隊・埼玉県警・国土交通省）

【訓練想定】岩淵飛行場外離着陸場近辺で、埼玉県航空隊・埼玉県警・国土交通省のヘリが、お互いの飛行用途及び安全確認のため、上空にて連絡調整を実施。各訓練の間で、埼玉県航空隊⇔埼玉県警、埼玉県警⇔国土交通省 間による共通周波数を使用した通信連絡訓練を実施する。



⑤空中消火訓練（埼玉県航空消防隊）

【訓練想定】川口市街で広がる延焼を止めるため、埼玉県航空隊のヘリが荒川の河川水を利用して空中消火を行う。荒川本川からの取水、及び岩淵ヘリポートへの消火水の投下訓練を行う。



■訓練時間

14:55～15:15

■訓練内容

- 14:45 現地到着，空からの安全確認
- 14:50 県警ヘリとの交信①
- 14:50 警視庁警備艇，東京消防庁消防艇による水面監視の実施
- 14:55 荒川水面からの給水
- 15:00 岩淵ヘリポートへの消火水投下（時間内で繰り返し）
- 15:10 水面監視2艇離脱
- 15:13 ヘリ離脱/県警ヘリとの交信②



埼玉県航空隊ヘリ

⑤' 水域安全確保 (警視庁・東京消防庁・荒川下流河川事務所)

【訓練想定】 水面からの消防水取水のため、船舶の通航を制限する。



■ 訓練時間

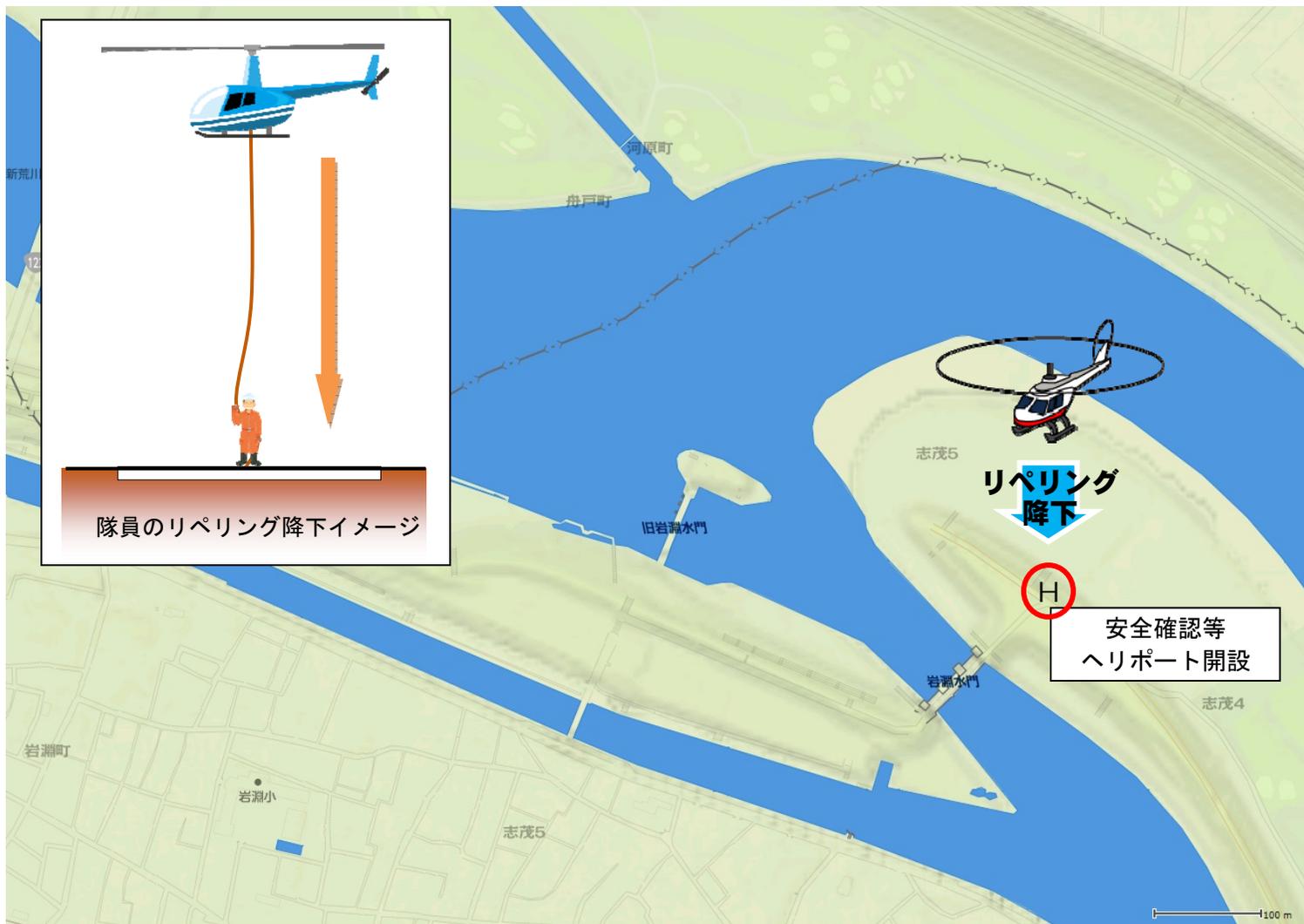
14:25～15:10

■ 訓練内容

- 14:25 警視庁警備艇 荒川分岐点荒川側下流に移動
- 14:30 いわぶち号 荒川分岐点隅田川側下流に移動
- 14:45 消防庁消防艇 荒川分岐点上流側へ移動
- 14:50 警視庁警備艇, 東京消防庁消防艇, いわぶち号による水面監視の実施
- 15:10 水面監視 3 艇離脱

⑥ヘリポート開設訓練 (埼玉県警)

【訓練想定】市街地側に設定したヘリポートのいくつかが使用困難となり、使用可能なヘリポートが輻輳したため、被災地近隣の荒川河川敷ヘリポートを部隊投入のための臨時ヘリポートとして開設することとした。現地にてヘリコプターを降ろすことが可能かどうかを確認し、飛行場外離着陸場の開設準備を行うため、埼玉県警察航空隊から、岩淵ヘリポートへ隊員2名をリペリング降下させ、現地状況の確認を行う訓練を実施。



■訓練時間

14:50～15:35

■訓練内容

- 14:50 現地到着
県ヘリとの交信①
- 15:05 国交省ヘリとの交信①
- 15:13 県ヘリとの交信②
- 15:15 岩淵ヘリポート進入
/リペリング降下
- 15:20 ヘリポート開設
(ヘリは一旦離れて待機)
- 15:30 着陸/隊員収容
- 15:33 離陸/国交省ヘリとの
交信②



埼玉県警ヘリ

⑦現地対策要員移送訓練 (国土交通省)

【訓練想定】関東地方整備局ヘリ「あおぞら号」は、被災地域の情報収集のため、関東管内河川を中心に飛行中。荒川下流河川事務所を訪問していた関東地方整備局要員を関東地方整備局に参集させるため、近隣を飛行していたあおぞら号により河川施設及び周辺の被災状況等の情報収集を行いつつ整備局へ参集する訓練を実施。



■ 訓練時間

13:45～15:45

■ 訓練内容

- 13:45 ヘリテレ画像伝送=
- 15:05 県警ヘリとの交信①
- 15:30 現地到着
- 15:33 県警ヘリとの交信②
- 15:35 ヘリポート着陸
- 15:40 整備局要員乗ヘリ
- 15:45 ヘリポート離陸



関東地方整備局
「あおぞら」